

# 安全データシート (SDS)

作成 2001 年 4 月 20 日

改訂 2025 年 1 月 21 日 (第 10 版)

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : HOBt (製品コード 1022)

製造者 : 株式会社ペプチド研究所

住所 : 大阪府茨木市彩都あさぎ 7 丁目 2 番 9 号

電話番号 : 072-643-4411

FAX 番号 : 072-643-4422

推奨用途 : 試薬

使用上の制限 : 消防法危険物第 5 類として取り扱うこと。

## 2. 危険有害性の要約

GHS 分類 :

物理化学的危険性

爆発物

等級 1.3

健康に対する有害性

急性毒性 (経口) 区分に該当しない

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

爆発物 : 火災、爆風または飛散危険性

注意書き

### 【安全対策】

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

他の容器に移し替えないこと。

容器を接地しアースをとること。

粉碎／衝撃／摩擦のような取扱いをしないこと。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

### 【応急措置】

火災の場合 : 爆発する危険性あり。区域から退避させること。炎が爆発物に届いたら消火活動をしないこと。

### 【保管】

消防法に従って保管すること。

**【廃棄】**

内容物／容器を国、都道府県並びにその地方の規制に従って、承認された焼却施設／承認された廃棄物処理施設に廃棄すること。

その他の危険有害性：データなし

**3. 組成及び成分情報**

単一製品・混合物の区別：単一製品

化学名又は一般名：1-Hydroxybenzotriazole

化学式、分子量：C<sub>6</sub>H<sub>5</sub>N<sub>3</sub>O (M.W. 135.12)

官報公示整理番号

化審法：(5)-3579、(5)-3603

安衛法：8-(3)-350

CAS Registry Number：2592-95-2

EINECS No.：219-989-7

TSCA 登録：有り

国連番号及び国連分類：0508、クラス 1.3C

**4. 応急措置**

吸入した場合：

直ちに新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい体勢で休息させること。気分が悪い時は医師の診断、手当を受けること。

皮膚に付着した場合：

直ちに、多量の水と石けんを用いて十分に洗浄する。汚染された衣服や靴を脱ぐこと、取り除くこと。皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当を受けること。

眼に入った場合：

水で 15 分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを使用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼刺激が続く場合は、医師の診断、手当を受けること。

飲み込んだ場合：

水でよく口をすすぎ、直ちに医師の診断、手当を受けること。

応急措置をする者の保護：

汚染した衣服や靴を取り除く。救助者が汚染物質に触れないようにゴム手袋やゴーグルなどの保護具を着用する。

**5. 火災時の措置**

適切な消火剤：水、泡消火薬剤

使ってはならない消火剤：特になし

火災時の特有の危険有害性：爆発する危険性がある。燃焼ガスには一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物等の有毒ガスが含まれる可能性がある。

特有の消火方法：火元の燃焼源を絶ち、消火剤を用いて消火する。

移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

消火を行う者の保護：消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。

消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。

状況に応じて自給式呼吸器を着用する。炎が爆発物に届いたら、消火活動をしないこと。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

直接人体に触れないように防塵マスク、保護メガネ、保護手袋、保護衣を必要に応じて着用する。

漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。

漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項：

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

付近の着火源となるものを取り除き、ダストが飛散しないように注意して掃き集め、除去する。漏出物質を完全に除去した後、漏出区域の換気、洗浄を行う。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：着火源を除去し、静電気の発生と蓄積を防止する。

安全取扱い注意事項：加熱、衝撃、摩擦を避ける。

容器から出し入れする際にはこぼさないように注意する。

飛散した固体などを吸い込んだり、飲み込んだりしないように注意する。眼への混入や皮膚への付着についても注意する。

取扱いの際には、第 8 項に記載している保護具の中から作業の状況に適した保護具を着用し、防爆型の局所排気を行う。

取扱い後は十分に手、顔等をよく洗い、うがいをする。

接触回避：混触禁止物質との接触や裸火、高温との接触を避けること。

保管

技術的対策：保管場所には危険・有害物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な照明及び換気の設備を設ける。

混触禁止物質：酸化剤、強酸、金属

安全な保管条件：密封して直射日光を避け冷所に保管する。 高温注意。

安全な容器包装材料：データなし

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：防爆型の局所排気装置を使用する。

取扱い場所の近くに緊急用の洗眼設備及びシャワーを設置する。

許容濃度：データなし

濃度基準値：データなし

保護具：防塵マスク、保護メガネ、保護手袋、保護衣を必要に応じて着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態：固体（結晶又は結晶性の粉末）  
色：白色又は僅かに赤色を帯びた白色  
臭い：データなし  
融点／凝固点：156-161℃  
沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし  
可燃性：データなし  
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：データなし  
引火点：データなし  
自然発火点：データなし  
分解温度：180℃  
pH：データなし  
動粘性率：データなし  
溶解度：温水に易溶、MeOH、DMF に可溶  
n-オクタノール／水分配係数：データなし  
蒸気圧：データなし  
密度及び／又は相対密度：データなし  
相対ガス密度：データなし  
粒子特性：データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性：消防法 第5類 第1種自己反応性物質である。  
化学的安定性：通常の保管及び取扱いの条件下においては安定であって、危険な分解や重合は生じない。金属との接触により爆発する危険がある。  
危険有害反応可能性：180℃以上に加熱すると発熱しながら急激に分解する。  
強い衝撃を与えると爆発する。  
避けるべき条件：直射日光、熱、裸火、高温、衝撃、摩擦  
混触危険物質：酸化剤、強酸、金属  
危険有害な分解生成物：燃焼、高温により有毒ガス（一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物等）が発生する可能性がある。

## 11. 有害性情報

急性毒性：LD<sub>50</sub>（マウス、経口）7,000 mg/kg      GHS 分類 区分に該当しない  
LDLo（ラット、経口）5,000 mg/kg  
皮膚腐食性／刺激性：データなし  
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：データなし  
呼吸器感作性又は皮膚感作性：データなし  
生殖細胞変異原性：データなし  
発がん性：データなし  
生殖毒性：データなし

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：データなし

誤えん有害性：データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性：データなし

残留性・分解性：データなし

生体蓄積性：データなし

土壌中の移動性：データなし

オゾン層への有害性：データなし

## 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報：  
適用される条例、政令等に従う。

## 14. 輸送上の注意

国連番号及び国連分類：

国連番号：0508

品名：1-ヒドロキシベンゾトリアゾール（無水物）（乾性のもの又は 20 質量%未満の水で湿性としたもの）

国連分類：クラス 1.3C

容器等級：該当なし

国内規制がある場合の規制情報：

陸上規制情報 消防法、道路法の規定に従う。

海上規制情報 船舶安全法/危険物船舶輸送及び貯蔵規制、港則法に定める規則に従う。

航空規制情報 航空法/航空法施行規則の規定に従う。

緊急時応急措置指針（容器イエローカード）番号：1 1 2

注意事項：

容器の破損、漏れがないことを確かめ、衝撃、転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

取扱い及び保管上の注意事項の記載にも注意する。

## 15. 適用法令

消防法：危険物第 5 類第 1 種 自己反応性物質

航空法：積載禁止（施行規則第 194 条・告示別表第 1、国連番号 0503、1-ヒドロキシベンゾトリアゾール（無水物））

船舶安全法：火薬類（危規則・告示別表第 1、国連番号 0503、1-ヒドロキシベンゾトリアゾール（無水物））

港則法：爆発物・火薬類（施行規則第 12 条・告示 547 別表）

道路法：車両の通行の制限（施行令第 19 条の 13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第 12 号・別表 2）【5 アゾ化合物】

## 16. その他の情報

### 引用・参考文献

1. GHS 対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針 2023 年 9 月  
(一般社団法人 日本化学工業協会)
2. JIS Z 7253:2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS) (一般財団法人 日本規格協会)
3. 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE) のウェブサイト
4. 16112 の化学商品 (化学工業日報社)
5. CAS SciFinder<sup>®</sup> (文献・反応・化学物質検索サービス)
6. 国連 危険物輸送勧告第 21 版 p.205
7. 北米 2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供であって保証するものではありません。